

平成30年度 保護者アンケート（30.11～12実施）
『放課後等デイサービス支援評価表』 新冠・日高合計 回収率15/31(48%)

1 調査目的	今後の放課後等デイサービスのサービス向上を図るため、保護者の意向、要望等を把握するため
2 調査対象者	放課後等デイサービス利用児保護者 27世帯(対象児童29人)
3 調査実施期間	平成30年11月1日～12月31日
4 回収率	31世帯(対象児童35人)送付、回答15部(回収率 48.4%)
5 回答結果	

	チェック項目	はい	わからない	いいえ	ご意見	改善点など回答
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14(93%)	1(7%)			
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	9(60%)	4(27%)	2(13%)	専門性ではない	・新たな職種の職員の配置は困難ですが、職員の専門性向上に努めます。
	③ 事業所の設備等は、スロープなどバリアフリー化されているか	14(93%)	1(7%)			
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、放課後等デイサービス支援計画書が作成されているか	14(93%)	1(7%)			
	⑤ 支援プログラムが固定化しないように工夫されているか	12(80%)	2(13%)	1(7%)		・支援プログラムの工夫に努めます。
保護者への説明等	⑥ 放課後等デイサービス支援計画書をベースにした支援が、展開されているか	12(80%)	3(20%)			
	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12(80%)	3(20%)			
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12(80%)	2(13%)	1(7%)		・今まで以上に日常的に情報交換するよう努めます。
	⑨ 保護者に対しての面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12(80%)	1(7%)		無回答2	・面談については、支援プログラム更新時だけでなく、随時受け入れておりますのでお声をかけて下さい。
	⑩ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に説明しているか	9(60%)	6(40%)			・苦情についてはいつでも受け入れ、対応する体制になっています。いつでも気軽に声をおかけください。
	⑪ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12(80%)	3(20%)	1(7%)	はい、いいえに重複回答1	・これまで以上に丁寧に対応してまいります。
	⑫ 定期的に会報やおたより等で、活動概況や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12(80%)	2(13%)	1(7%)		おたよりで行事予定等はお知らせしています。アンケート結果等についてもご連絡いたします。
	⑬ 必要に応じて他機関(学校・保育園・幼稚園)等と情報交換がされているか	10(67%)	5(33%)			情報交換は随時行っておりますが、連携は今後さらに強化していきます。
非常時対応	⑭ 個人情報に十分注意されているか	11(73%)	4(27%)			十分注意して管理しておりますが、さらに取扱いには気を付けて参ります。
	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9(60%)	6(40%)			策定しているマニュアルは掲示していますが、繰り返しお知らせいたします。
満足度	⑯ 災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9(60%)	4(27%)	2(13%)		今年度はすべてのグループで地震・洪水を想定した避難訓練を行いました。時期を見てまた実施する予定です。
	⑰ 子どもは通園を楽しみにしているか	12(80%)	2(13%)		無回答1	
自由記載	⑱ 事業所の支援に満足しているか	12(80%)	2(13%)	1(7%)		みなさんの声をお聞きし満足していただけるよう取り組みます。
	⑲	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム感覚で訓練が行われているので、子どもは通園を嫌がることなく楽しみにしているため、親としても安心していられます。これからもよろしくお願ひします。 ・サービス内容や職員の方の対応には満足しています。ただ、仕事上中々休みを取るのが難しいので、保護者が付かなくても、幼稚園、小学校等と連携して放課後でも対応して頂けると助かります。 ・目の検査をすとなつた時、事前にどんな様子が気になり検査をするのか話してほしかった。突然だったので。 ・本当に話をしたいと思った時、全活動終了後、相談できる時間を作っていただけたら嬉しい。 				

6 まとめ

回収率は48.4%と昨年の調査(42.4%)と比較しますと、若干ですが高くなっております。全回答項目の77%が「はい」と回答しており、概ね肯定的な評価をしていただきました。「いいえ」は職員の専門性、支援内容の工夫といった療育内容に関わる事柄のほか、保護者の皆様との共通理解や意思の疎通について、また災害訓練について回答されております。職員の専門性につきましては新たな職種のスタッフを配置することが困難なため、職員の資質向上に努めてまいります。保護者との共通理解や意思疎通につきましては、昨年のアンケートでも御指摘があり、必要に応じ随時相談を受けられることを伝達してまいりましたが、更に工夫を加えて参ります。災害訓練につきましても昨年ご指摘をいただき、今年度はすべてのグループで、津波や水害を想定した避難訓練を実施いたしました。全ての方は参加はされていません。今後も定期的に災害に向けての取り組みを行っていきたくて考えております。また、19.6%の方が「わからない」と回答がありました。これは、多くの面で保護者の方に私たちの発信が不足していることの表れと思われまふ。これからも利用されている皆さまの御意見を伺うとともに、私たちからも発達支援や療育について積極的に発信してまいりたいと考えております。アンケートに御協力いただいた保護者の皆様方には、心より感謝申し上げます。回答いただいた内容を今後の療育に活かしていきたいと考えております。